

2016年度 大学見学および遠足 ～離れた場所での生活を考える～

工学系2年生では、5月10日（火）～11日（水）にかけて、1泊2日間の「大学見学および遠足」を実施しました。

大阪を離れて、バスに乗って福井県を訪れました。福井工業大学さんの全面的なご協力のもと、『住み慣れた土地から離れた場所での生活（学習や仕事）』について、現実的に考えました。

<大学見学>

今年度は平日に見学させていただいたので、学生さんも多く、日常の生活風景をよりリアルに感じることができました。

SPEC体験（Special Program for English Communication「使える英語」体験）では、ネイティブスピーカーの先生と英語によるやり取りを通じて、有意義な時間を過ごしました。

機械工学科の見学では、車のエンジンの分解・組立を実際に体験したり、最新のロボット技術についての講義を受けました。

環境・食品科学科の見学では、ガラスの性質、太陽電池の原理、冷凍に必要な条件等について、体験を通してわかりやすく紹介していただきました。



<遠足>

越前松島水族館を訪れました。平日の午前中にもかかわらず、地元の子どもたちをはじめ、たくさんのお客さんで賑わっていました。様々な海の生物たちに触れたり、見るだけでなく、イルカショーや3D立体映画館など、体験・体感型水族館を存分に満喫しました。

その後、日本随一の奇勝として名高い東尋坊を訪れました。

前日から続く雨と強風というあいにくの悪天候でしたが、そのぶん、自然の迫力が満点でした。



生徒たちの感想（抜粋）

- 学生も先生もすごく優しくかった。施設も大きく、設備がたくさんあってすごく良かった。
- 研究室がガラス張りでオープンな感じがした。
- 大学生が楽しそうにしていたり、自信を持って話す姿がかっこよく、さらに大学に行きたい気持ちが高まった。
- 内容が濃い大学見学だった。
- エンジンの分解組立作業がとても楽しく、あっという間だった。
- 学食がとてもおいしかった。
- 晴れた日にもう一度、大学の外側も見学したいと思った。
- わざわざ福井に来た甲斐があった。実験もためになったし、将来の道が決まりそうな気がした。